

トップアスリートの指導で技術力の向上と健全育成を

～次世代育成支援スポーツ事業～



モハマド・イズワン・ビン・イブラヒームコーチ



宇高菜絵選手



川又堅基選手



黒河貴矢選手

西条市では次世代を担う青少年の健全育成のため、トップアスリートたちによる各種スポーツ事業を開催しています。12月1日には全日本ジュニアナショナル専任コーチのモハマド・イズワン・ビン・イブラヒームさんを講師に迎えバドミントン教室が、同15日には『柔道グランドスラム東京2013』女子57キロ級で優勝した宇高菜絵選手による柔道教室を開催しました。さらに同28日にはアルビレックス新潟の黒河貴矢選手、川又堅基選手といった現役Jリーガーによるサッカー教室を開催しました。

宇高選手、黒河選手、川又選手は西条市出身ということもあり、地元出身のトップアスリートの技術と指導に触れ、2017年に開催される「えひめ国体」で主役となるジュニア世代の競技力の底上げが図られました。

12/22 一本のタスキでつながる思い



ひうち陸上競技場周辺コースで開催した「西条市駅伝競走大会(西条会場)」。冷たい空気の中、市内外合わせて58チーム391人が参加し、仲間の思いがこもったタスキを一人ひとりが一生懸命つないで、日頃の練習の成果を競い合いました。

1/7 全国へ約100万パック出荷 西条の七草



県の「愛」あるブランド産品「西条の七草」のPRと、七草粥の風習を伝えていくため、JR伊予西条駅前でJA西条が七草粥をふるまいました。「西条の七草」は日本一の出荷量を誇り、訪れた皆さんは無病息災を願いつつ新春の味覚を味わいました。